

第12回福島県荒川博杯ティーボール大会実施要項（案）

- 1 開催目的 ティーボールの普及を図るとともに大会を通じて児童の健全育成を図る。
- 2 主 催 矢吹町スポーツ少年団本部 NPO法人日本ティーボール協会福島県連盟
- 3 後 援 福島県 矢吹町 矢吹町教育委員会 矢吹町体育協会
- 4 開催日時 令和3年11月6日（土） 受付 7時00分 開会式 8時00分
【雨天予備日 11月7日（日）】
※令和3年5月29日（土） 予備日：30日（日） が延期により
- 5 会 場 町営矢吹球場（矢吹町一本木100-1）
- 6 参加資格 小学校4年生以下の児童で編成したチームとする。（基準日：大会実施日）
【チーム編成】 引率責任者1名 登録選手10名以上 16名以内
（参加チーム） 県内16チーム
- 7 競技方法 **トーナメント戦**
- 8 競技規則 日本ティーボール協会オフィシャル・ルールに準ずる。ただし本大会では以下のルールを採用する。**なお、感染防止の観点より、今大会の道具は各チームの物を使用し、バット・ボールのみ主催者側にて準備する。**
 - （1）塁間は16メートルとする。
 - （2）ボールはケンコーティーボール11インチとし、グラブを使用すること。
 - （3）金属製スパイクの使用は禁止とする。
 - （4）競技者は10名とする。
 - （5）◆**トーナメント方式**
 - ①全員打撃制ルールとし、試合は3イングとする。
（最初に10名が攻撃を行い、攻撃が終わったら攻守交代とする。）
※交流試合：試合は2イングとする。
 - ②3イングの合計得点が多い方が勝ちとなる。
（勝敗が決定しても3イング行う。）なお、同点の場合は、抽選とする。
 - （6）服装はチームである程度統一されていれば、運動のできる服装でよい。
 - （7）選手はゼッケンもしくはビブスを着用する（**各チームで準備・ユニホームも可**）。
なお、選手交代の際は、ゼッケンを引き継ぐ。
- 9 審判員 日本ティーボール協会TTA公認指導者とする。
（補助審判員及び記録員は割当表のとおり2名ずつご協力願います。）
- 10 表彰 優勝チームには、荒川博杯（持ち回り）・賞状
※メットライフドームで開催予定の「第24回全国小学生ティーボール大会」への出場権を与える。

- 11 組合せ 主催者側で代理抽選済み。
9月30日(木)までに参加辞退チームがいた場合、その枠について、
抽選漏れだったチームを繰り上げとします。

12 日 程

| | | |
|---------------|-----------------------|---------------------------|
| 受付 | 7時00分～7時45分 | 大会本部前（町営矢吹球場） |
| 協力者説明会 | 7時30分～7時45分 | 大会本部前 ※審判補助員・記録員出席 |
| 代表者会議 | 7時45分～7時55分 | 大会本部前 |
| 開会式 | 8時00分～8時30分 | |
| 試合 | 8時30分～10時45分 | 1回戦・2回戦・3回戦 |
| | 10時45分～ 12時15分 | 準決勝・決勝 ※交流試合 |
| 表彰式 | 12時15分～ | |

- 13 参加費 1チーム 3,000円（当日、受付にて納入）

- 14 その他
- (1) 損害保険等については各チームで加入すること。
 - (2) 大会参加者並びに関係者の損害事故については、主催者は応急処置以外の一切の責任を負わない。
 - (3) 参加チーム数により、競技方法、日程等に変更がある場合がありますので、予めご了承ください。
 - (4) **大会運営について、《新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン》に従うこと。**
 - (5) **新型コロナウイルス感染症の感染状況により、中止となる場合がありますので、予めご了承ください。**

申込及び連絡先

住所 〒969-0296 福島県西白河郡矢吹町一本木101
「第12回福島県荒川博杯テニール大会 事務局」（教育振興課内）

電話 0248-44-4400 FAX 0248-42-2587

e-mail yabuki-be@fcs.ed.jp

第12回福島県荒川博杯ティーボール大会における 新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン

矢吹町スポーツ少年団本部

選手をはじめ各チームに関係するすべての方々の命と健康を第一に考え、新型コロナウイルス感染症への予防対策を講じながら試合を実施することに、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

I. 基本的な考え

- (1) 3つの密(密閉、密集、密接)を回避し、ソーシャルディスタンスを意識する
- (2) 活動時以外(飲食時除く)はマスクを着用する
- (3) タオル・ペットボトル・コップなどの共用は避ける
- (4) 新型コロナウイルス接触確認アプリ(COCOA)を推奨する
- (5) 命を守るための行動を最優先とする

II. 活動(試合)開始前

- (1) 大会参加者は、主催者が示した「ガイドライン」・「チェックリスト」等を遵守すること。
- (2) 会場に入場できる者は、チーム関係者、大会役員、審判員、事務局、報道関係者のみとし、かつ大会当日に「健康チェックシート」を提出し受理された者のみとする。
チーム関係者は監督、コーチ、審判員、選手(含エントリー外の選手)、児童保護者とする。
- (3) チーム責任者は上記(2)を関係者に周知する。
- (4) 大会参加者の健康状態等を把握するため、大会参加者全員に「健康チェックシート」の提出を求める。必要事項を記入し、大会当日、忘れず持参すること。
参加チーム責任者は、大会当日、チーム全員の「健康チェックシート」を集め、受付に提出すること。
- (5) 参加チームの監督コーチ、選手、保護者が、以下の項目に該当しないことを確認の上参加すること
 - (Ⅰ) 過去 1 週間以内から現在までに体温 37.5 度以上、強い倦怠感、感冒様症状(咳、咽頭痛、息苦しさ等)、味覚・嗅覚異常などの異変がある場合を含む体調不良のある者
 - (Ⅱ) PCR 検査陽性歴があり
 - 1 有症状者では、発症日から 10 日未満、かつ、症状軽快後 72 時間以内
 - 2 症状軽快後 24 時間経過から 24 時間以上の間隔をあげ、2回の PCR 検査で陰性を確認できていない
 - 3 無症状病原体保有者では、陰性確認から 10 日未満
 - 4 検体採取日から 6 日間経過後、24 時間以上の間隔をあげ 2回の PCR 検査陰性を確認できていない
 - (Ⅲ) 濃厚接触者として自宅待機中の者
※ 濃厚接触者:患者(確定例)の感染可能期間に接触した者。
なお、濃厚接触者の指定は該当者の居住地域、保健所が判断する)
 - (Ⅳ) 家族が濃厚接触者として自宅待機中の者
 - (Ⅴ) 家族に(Ⅰ)・(Ⅱ)のいずれかの体調不良がある者
 - (Ⅵ) 海外から帰国(日本に入国)して 14 日未満の者

(Ⅶ) マスク非着用の者(プレー中は、該当しない)

(Ⅷ) 本大会開催、試合運営に関するガイドラインならびに連盟役員及び審判員の指示に従わない者

III.活動(試合)中および活動(試合)終了後

(1)ティーボール用バット(S,M,L)、選手ナンバー(ビブス、ゼッケン等)は各チームで準備する

(感染防止の観点より、今大会の道具は各チームの物を使用する)

(2)試合前後の挨拶は、各チームベンチ前に整列して行う。

※サークルを描くように整列し、ハイタッチでのあいさつは感染防止の観点より実施しない

(3)先攻・後攻を決めるジャンケンは、ソーシャル・ディスタンスを保ちおこなう

(4)水分は個人のペットボトルか水筒で飲むこと(共用の水筒やタンクは使用しないこと)

(5)試合中は素手でのハイタッチ、握手は禁止する

(6)ボールを触った手で目・口・鼻を触らないように指導すること

(7)試合前やイニング間の円陣は一定の間隔を保ち、声出しや大声での会話は禁止する

(8)ベンチ内では、人と人との間隔をとり、近距離での会話や大きな声での声援は控える

(9)各チームで準備した手指消毒液にて各チームの攻撃前ごとに消毒を行う

(10)ダッグアウト内では選手同士の間隔の確保に努める

(11)手伝い選手や監督等のスタッフ(ベースコーチにつく場合を除く)は原則マスク着用とする

(12)メガホンの使用を禁止する

(13)唾を吐く行為、手を舐める行為は禁止する

(14)守備中に審判や選手と会話する場合は、自分のグローブで口を覆う形で行うこと

(15)許可なく自分の試合会場以外の会場へ行かないこと

(16)終了後の応援団への挨拶は行わないか、行う時はソーシャル・ディスタンスを保ち行うこと

(17)マスクを着用して移動すること

(18)荷物を持ち、《待機場所へ》静かに退場すること

(19)試合後のミーティングは、指定されたスペースにて一定の間隔を保ち速やかに行う

IV.大会運営など

(1)接触の多い箇所は適宜消毒を行う

(2)参加者から新型コロナウイルス感染症を発症したと報告があった場合は関係機関などに連絡を行う場合がある(プライバシーは確実に守ります)